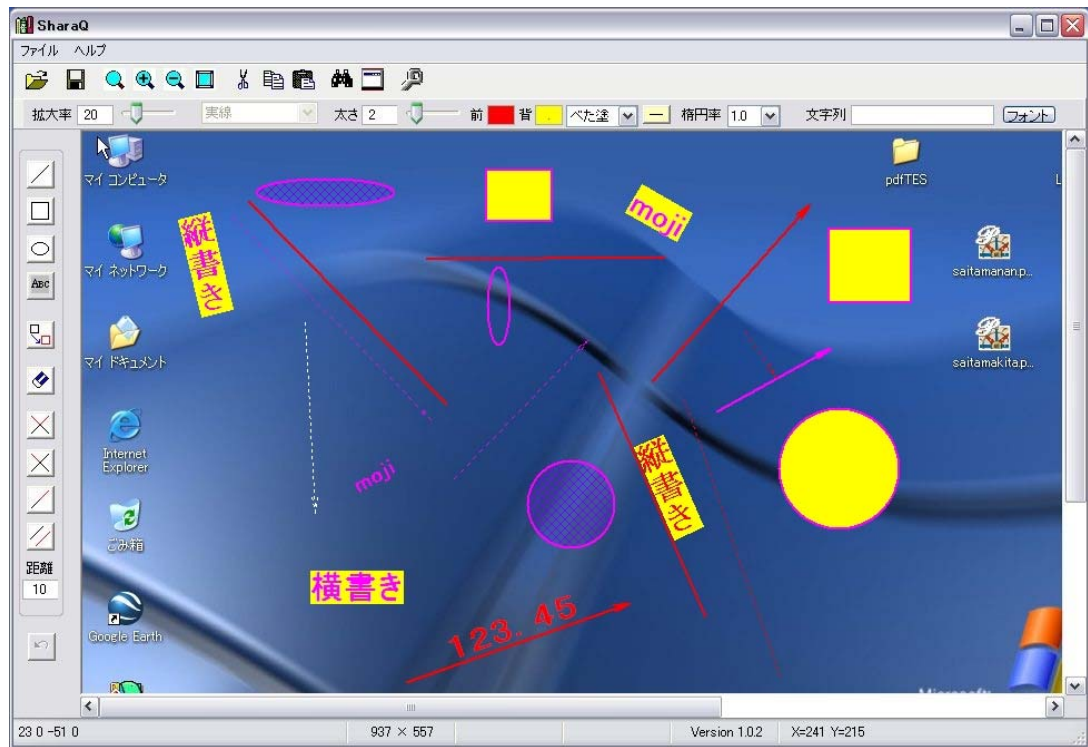


SharaQ

本プログラムは、画面の情報を指定範囲で入手してその画像に CAD のイメージで線・四角・円・楕円・テキストを追加して JPG で保存をコンセプトにして開発したものです。

もちろん、既存の写真や画像を開いて同様に処理することも出来ます。



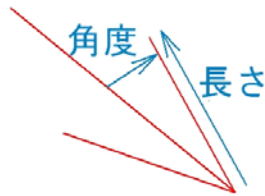
スクロールバー表示時、画像上でマウスの右 Drag&Drop で任意移動できます。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

- ① 開く…… bmp や jpg 画像ファイルを開きます。
- ② 保存…… 名前を付けて編集した画像を保存します。
- ③ 枠拡大… 矩形で指定した範囲を拡大します。
- ④ 拡大…… 設定した拡大率で画像を拡大表示します。
- ⑤ 縮小…… 〃 縮小表示します。
- ⑥ 全体…… 初めの拡大率(100%)で画像を表示します。
- ⑦ 切取…… 指定範囲をクリップボードへコピーします。
- ⑧ コピー… 画像をクリップボードへコピーします。
- ⑨ 貼付…… クリップボード内の画像を取得して表示します。
- ⑩ キャプチャ… 現在のデスクトップの画面を指示した矩形範囲で取得します。
- ⑪ 画面/アクティブ画面
全画面をキャプチャするか、現在アクティブの画面をキャプチャするかの切替。

⑫ 設定



- ☐ 線分の中央に文字列を作成
線分を引く時に、文字列に入力した文字列を配置条件に従い作成します。文字列が空欄の場合や、チェックがオフの場合は作成されません。

配置条件



- ☐ 円の半径を固定する。
決まった半径の円や楕円を連続的に配置する場合には半径を固定します。チェックを入れて、半径サイズを入力します。(ピクセル単位)

J P G 画像保存の解像度

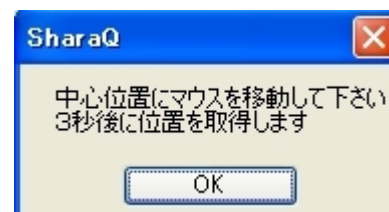
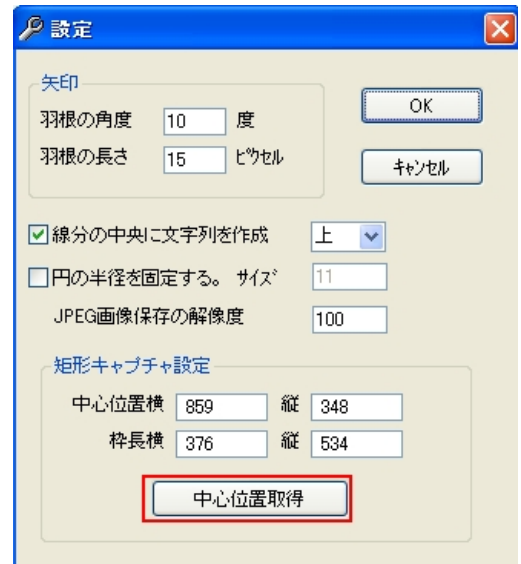
画質を落として保存したい場合など、1～100 の範囲で指定できます。

矩形キャプチャ設定

矩形ボタンを押した時の、画面上の中心位置と矩形サイズ（ピクセル）を設定します。中心位置に関しては、画面上がから取得することもできます。

中心位置取得ボタンを押します。

OK ボタンを押した後、3 秒後に現在の画面の位置を取得し設定します。

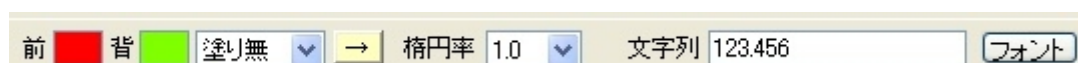




拡大率 1～100 の範囲で拡大・縮小ボタンを押したときの率を指定します。
例として 30 の場合
拡大ボタンを押す度に 100→130→160→190→220・・・

線 種 線分・四角・円の線の種類を指定できます。

太 さ 1～10 の値を設定できます。
※ 線の太さが 1 の場合のみで太さを指定した場合は全て実線となります。



前 前景色を指定します。
色の四角の部分をクリックすると色選択画面を表示します。

背 背景色を指定します。
右隣の塗潰しスタイルを設定した時に有効となります。

→ クリックする毎に「→」「—」が変化します。線分の終点に矢印を付けるかの判断です。

楕円率 0.2～3.4 の 0.2 間隔で設定します。
1 が円となり 1 より少なくなると横長楕円となり大きくなると縦長楕円となります。

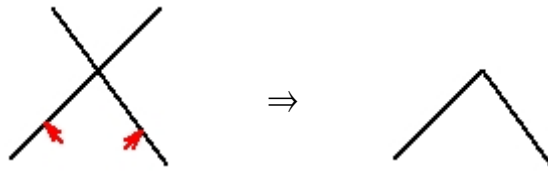
文字列 作画したい文字列を入力します。

フォント 文字列を作画する時の、字の書体・大きさ・スタイルを設定します。

※各設定は終了時に記憶しますので、次回起動時は前回の終了時の情報となります。

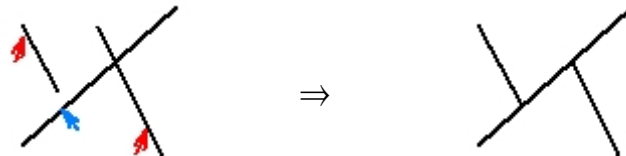
	線分を作画できます。(基準点は線上)
	四角を作画できます。(基準点は左上)
	円・楕円を作画できます。(基準点は円の中心)
	文字列を作画出来ます。1点指示の場合は平行に、 Drag&Drop では角度を付けて文字を配置できます。塗潰しにも対応(基準点は左上)
	図形を移動します。 Drag した時に一番近い基準点を持つ図形が対象です。 Drop で移動位置を確定します。
	作画済み図形を削除します。一番近い基準点を持つ図形が対象です。
	指示した2つの線分に対して両トリムできます。
	指示した2つの線分に対して片トリムできます。トリムされるのは2番目に指示した線分です。
	指示した線分の長さを延長又はカットできます。
	指示した線分に平行な線分を作成できます。
距離	
10	上記の平行な距離をピクセル単位で指示します。 線分の進行方向左側の場合は、負の値を指示します。
	直前の操作を取り消しできます。(1回のみ)
矩形	設定で登録した位置情報を元に画面上の矩形範囲をキャプチャします。

<両トリム>



線分を指示するときに残したい点側を指示してください。

<片トリム>



最初に青い矢印が指す線分の線上付をクリックします。(この線分は処理しない)
続けて赤い矢印部分をクリックすると最初に指示した線分にくっ付きます。
この時の指示の位置により残る線分が異なります。

つまり線分A Bに対してクリックした位置との
距離の関係が、近い方の点が残って遠い方の点に
交点計算で求めた位置を代入します。

